

市内小学生、郷土かるたで熱戦 坂本小No19チームが第3位に!

第14回 中津川市郷土かるた競技大会 開催

2月16日に中津川市郷土かるた普及協議会主催の第14回中津川市郷土かるた競技大会が中津川市健康福祉会館多目的ホールで開催されました。

平成17年の市町村合併を機に広くなった市域の身近な自然や歴史、文化を郷土かるたに読み込み、そのかるたに親しむことで、自分達の住む地域に愛着を持ってもらうことを目的に始まった競技大会です。今年は、市内小学校から51チームが参加。坂本小学校からは西小学校との混成チームを含む5チームが参加しました。14回を重ねるこの大会。過去には、第6回大会と第12回大会に坂本小学校が優勝しています。

会場は、保護者の応援団も含めて熱気がむんむん。競技が始まると、選手は読み手の言葉に神経を

研ぎ澄ませます。一瞬の記憶力と瞬発力が勝敗を分けました。

予選の結果、坂小からはNo.17の4年生チームが12番目で、No.19の6年生チームが第1位で決勝戦に進出。この時点で6年生チームが優勝の最有力候補となりましたが、くじ運に恵まれず、決勝2試合を強豪の坂下小、東小と対戦したため取り札が伸びず、惜しくも第3位となりました。残念!でも、素晴らしい思い出が出来ましたね。No19チームは、戸毛莉乙奈さん、大山純菜さん、加藤笑真さんです。

おめでとうございます。



抜群のチームワークで第3位を獲得



参加・体験・実践型の講座で交通安全意識を高めることができました！

坂本地区高齢者交通安全大学校 終了しました

昨年5月に開校した中津川警察署主催で坂本老人クラブ連合会の会員を対象にした坂本地区高齢者交通安全大学校が2月に終了しました。新型コロナウイルス拡大防止のため、残念ながら修了式は中止となりましたが、参加・体験・実践型の交通安全教育プログラムで安全意識を高めることを目的に、実際に講座を体験した154名の方からは「正しい運転を再確認できた」「自分では気づかないことを指摘してもらえてよかった」などの感想が寄せられています。「事故に遭わない、起こさない」が再確認できました。



交通課小島係長から代表して修了証を受け取る小木曾光春坂本老連会長



参加記念品として夜間の危険な雨天時に光る交通安全傘をプレゼント

時速5キロの衝撃結構あります

シートベルトコンビンサーはシートベルトの着用効果を体験する装置です。トラックの荷台の台車が動いて時速約5キロの衝撃を再現できます。4人グループでシートベルトコンビンサーに乗り込んでの時速約5キロでの衝突体験では、ぶつかった瞬間の衝撃が予想以上に強く参加者から悲鳴が上がっていました。(令和2年1月30日実施)

シートベルトコンビンサーはシートベルトの着用効果を体験する装置です。トラックの荷台の台車が動いて時速約5キロの衝撃を再現できます。



どれどれ



おおっ キター！



びっくりした

自分の俊敏性に一喜一憂

クイックアームは、光るランプをもぐらたたきの要領で素早くたたき俊敏さを測定し、クイックキャッチは、落ちてくる光を素早くつかんで俊敏性を測定します。また、物忘れ相談プログラムといった認知機能状況を簡易に検査できる機材も体験しました。「あなたの俊敏性は〇〇歳です」と測定結果がプリントされるので、参加者は自分の年齢と比べて、一喜一憂。参加者からは、「自分が思っている以上に反射神経が鈍っているのが分かりました。これから運転するときには、より慎重な運転に心がけたい」などの声が聞かれました。(令和2年2月5日実施)

クイックアームは、光るランプをもぐらたたきの要領で素早くたたき俊敏さを測定し、クイックキャッチは、落ちてくる光を素早くつかんで俊敏性を測定します。



クイックアーム



クイックキャッチ



もの忘れ相談プログラム